

同窓会報 *News letter*

Vol.
64・65

横浜市立南高等学校・附属中学校 同窓会報



Greeting 2～3

Message from the Teacher,
訃報 4～5

同窓会の活動 6～8

同窓会主催の活動、同期会、
部活OB会 9

寄付者御芳名 10

同窓会表彰、コロナ禍での学校支援、
同窓会役員・理事・監事紹介 11

総会開催案内、
ホームページのご案内 12



内館牧子さんは大河ドラマを始め多くのドラマの脚本を書き、エッセーや小説の著作も多い方で、唯一の女性横綱審議委員としても活躍された。私が都立高校の校長のときの教育委員でもあったので、新設高校の校歌の作詞を創られたときなどに何度かお話しする機会があった。私は特に内館さんのエッセーが好きで、歯に衣着せぬ鋭い論調の中にあっても、鼻白むような道徳論を振りかざすことがない。また、一途さや懸命さを「かわいい」と慈しむ優しさもある。その内館さんが「元気な人」の定義を（内館さん自身が元気のかたまりのよう

な方であったが）このように述べている。「元気な人」というのは「物事にシラケていない人」である。「物事にシラケていない人」とは「物事に価値を見つけられる人」である。最後の言葉は「物事に価値を見つけようとしている人」でもいいと私は思っている。

今回の会報にもあるように、同窓生が講師になって高1生の TRY & ACT の授業が行われた。5つの教室にわかれたワークショップはどれも活気があって、生徒が楽しそうに取り組んでいた。その中でシラケて参加しようとする生徒は一人もいなかった。生徒たちは今回の授業で何かの価値を見いだそうとしている。そこまでの自覚はないかもしれないが、ともかく前向きに取り組む姿勢から「元気な人」たちの集まりである南高生を実感し、感動した。

私は年齢を重ねて、膝が痛かったり、血圧が高かったりと身体的にはガタが来ているが、気持ちだけはいつまでも「元気な人」でいたいと思う。現役の南高生の皆さんから「元気」をもらった。



同窓会の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、本校の教育を充実させるために、ご支援、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

南高等学校、南高等学校附属中学校の校長として、今年度着任いたしました。私自身、平成28年度から3年間、副校長、校長代理として本校に勤務しておりました。同窓会の皆さまには本校の応援団として、物心両面から学校をサポートしていただき、大変心強く感じておりました。当時、同窓会よりご支援いただいた演台や中高のエンブ

レム等は、現在も大切にに使わせていただいております。また、同窓生による在校生への学習活動の支援について会長にご相談したところ、快諾をいただき、すぐに実行に移していただきました。

4月に2年ぶりに戻ってまいりましたが、同窓生による学習支援は、更に充実した取組となって定着していると実感しました。5月22日には高校1年生向けの講座として、5名の同窓生によるワークショップ、ディスカッションが行われ、68年の伝統を持つ学校としての、脈々と流れる南高のDNAが後輩たちに受け継がれる場となりました。また、翌週には南高附属中学校3年生向けに、大学に在籍中の同窓生が講師となり、本校での学びの大切さについて将来のキャリア形成の話を変えて伝えていただきました。

末筆になりますが、同窓会の益々のご発展を祈念するとともに、本校及び南高生、南高附属中生一人ひとりの成長のために、今後とも皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



この度、南高等学校附属中学校の校長代理として着任いたしました富樫 哲一と申します。同窓会の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。着任してすぐに、石川 直弘同窓会会長様からの直々のご挨拶をいただき、その礼に心からの感謝の気持ちと校長代理の重責に改めて身が引き締まる思いを抱きました。

さて、現在も新型コロナウイルス感染症の

拡大が続く世界情勢ではございますが、生徒たちは、その状況に臆することなくむしろ大人よりも前向きにこの世界的な課題に立ち向かおうとしている姿が授業や日常生活の中で随所に垣間見られております。これは、高等学校と連携しながら、生徒の発達段階における問題や課題を生徒自身が解決する学習が継続的に行われている成果であると考えております。

引き続き、全生徒が学校行事等を通して協働・協力の意識をもち、学習活動を含め充実した学校生活を送ることができるよう努め、南高等学校附属中学校の更なる発展のために尽力してまいります。同窓会の皆様方には、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、本校同窓会のますますのご発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



同窓会の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

校長として在籍した5年間、同窓会におかれましては南高・南高附属中の充実・発展のためにご支援・ご協力、また、コロナ禍におきましては多大なる援助を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成21年4月2日神奈川新聞の1面に「南高に中等教育学校 あす正式決定見通し」、翌28日には「中等教育学校に慎重審議求め請願 横浜・南高同窓会など」という

記事が掲載されました。その記事掲載の約9年後、平成30年3月16日、南高62期生（一学級募集初年度生と南高附属中一期生）の卒業式が挙行されました。私はこの間、教育委員会事務局の首席指導主事から南高・南高附属中の校長へと立場は変わりましたが、思い出深い南高に携わることができました。そして、私の最大の目標であった『62期生の卒業式を校長として迎える』が達成できた瞬間には感慨深いものがありました。ここで南高・南高附属中を選んでくれた生徒や保護者に感謝するとともに、卒業生の今後の活躍に期待したいと思います。

結びになりますが、南高・南高附属中にご支援頂き有り難うございました。私は南高・南高附属中を卒業しますが、今後とも南高・南高附属中を宜しくお願い致します。

Message from the Teacher



はじまり

浅見 信夫

昭和 32 年 3 月、大学受験の時からお世話になっている N 先生から、「最近描いた絵を持ってお隣のお宅に行くように」と云われた。私の家からもよく見える地元の名士のお屋敷で、緊張しながら初めて門をくぐった。通された大きな居間には、私が卒業した中学の校長と副校長、そしてこの後お世話になる南高校の黒沢校長と山崎副校長が待っていた。持参した絵の説明をしたが、そのあと何を話したかは緊張からあまり覚えていない。

数日後 N 先生から「南高校の校長室に行くように」と連絡があった。

その時の私は芸大の学部を卒業し、春から同大学の専攻科に進むことが決まっていた。大学院がなかった当時、専攻科は卒業した後も大学の施設を利用でき、アトリエを持たない者にとって大変魅力的な制度であった。しかし、場所を与えられても、絵を学ぶには色々と物入りだ。私はアルバ

イトを捜す必要があった。

黒沢先生に指定された場所は港高校の校長室だった。新校舎を建てる間、南高校は港高校で授業を行い校長先生は二校を兼任されていた。先生は「南高校の美術科で非常勤講師として働かないか」と私を誘った。

4 月からは、午前中は学生、授業のある日の午後は高校で過ごした。生徒と美術を学ぶ事は楽しかったし、写生旅行や展覧会にも自由にいける時間もでき、お世話をして下さった方々に日々感謝の気持ちであふれていた。

3 年目の春には授業も一人で受け持つようになり、益々充実した毎日を過ごしていた。新校舎の建築も順調に進んだ。

2 学期のはじめ、黒沢先生に、真新しい校長室に呼ばれた。そして少し笑いながら「君はクビだ」と突然云われた。言葉もなく驚いていると穏やかな優しい声が続いた。「もし続けたければ非常勤では駄目だ。明日教育委員会に行ってください」と。

南高校での 19 年半の教育人生のはじまりである。

在籍期間…昭和 34 年 10 月～昭和 52 年度



人間教育なら南高校!

保健体育科 松下 祐子

1964 年東京オリンピックが開催された年に初任校の南高校に着任しました。前年開校 10 周年を祝い、施設が整備され教育理念が確立し目標に向かい充実した活動が軌道に乗り出した時で、先生方の熱心さも印象的でした。とことん話し合っ決めてるので各種会議が多く長かったのですが、新米教師には素晴らしい研修でしたし、南高校でスタートできたことをありがたく思っています。

保健体育の授業は 2 クラス合併にして男子と女子に分けていました。女子 50 名位で 5 時間目に校外にマラソンにいきました。交通事故の危険性や警察の届け出が必要か等考えもせずでかけました。あろうことか道に迷ってしまいやっと学校に着いたら 6 時間目はとうに始まっていて次の先生にも生徒にも迷惑をかけたことがありました。

南高校での思い出のトップは「南高祭」です。開会式・展示の部・舞台の部・体育の部・閉会式と 1 週間続くお祭りにかかる情熱とエネルギーはすさまじいものでした。舞台の部での 2 年総出演は南高校の特色と言える行事で、舞台を作り出す喜びを味わうだけでなく、真剣に取り組む過程で様々な経験をし、仲間との絆が強くなる。まさに人生における総合的学習と思われま。

巷では「人間教育なら南高校」と言っていると耳にしました。高校時代に完全燃焼できることがあり、仲間の存在のありがたさを知ることができるのは人生の宝です。南高校は実に宝の山です。

今年私は 80 歳を迎えます。2015 年に放送大学教養学部に入學しました。当初は面白そうな講義だけ視聴すればいいと思っていましたが、卒業に必要な単位数が集まってきたら卒業を目指そうと目標が変わりました。

どうぞ皆様、好奇心とチャレンジ精神を忘れずお健やかに過ごしてください。

在籍期間…昭和 39 年度～昭和 52 年度

推援の心を大切に

高見澤 隆



母校を愛し、母校の発展隆盛を願い、在校生の学園生活の充実と成長を援助することが同窓会の役割のひとつだと思います。社会の変容と共に学校教育が変わるのも必然です。

市立高校の存続発展を考える行政と、母校愛に燃える地域住民と同窓会の軋轢も、一部の犠牲を経て、現在の形に落ち着いたことに安堵しました。

繋がる縁

岩田 正満



旧校舎の音楽室は最上階の4階でした。そこでは、両サイドの窓から入ってくるやわらかい季節の光が、よく生徒達の顔を照らしていました。窓をあけると心地よい南ヶ丘の風が通り過ぎて行きました。まだ駆け出しの教員だった頃に、そこへ集う生徒たちの生きる進行形に触れた経験は本当に幸せな事だったんだとつくづく実感しています。そして、毎日のように卒業生も現れ、南高特有の縦横の「期」のつながりが培われていた場でもありました。

その音楽室から出て右の「若葉の庭」も遠方に富士山の眺望など、南高らしさがとても感じられた場所で、気持ちの良い屋外の廊下と記憶しています。

その後、南高生の想いをそのまま引き継がれるよう建てられた新校舎により、さらに新しい時代へのチャレンジが活発化したと思います。とはいえ、すでに現校舎も30年以上は経過しているので「新」とは言えませんが、これまで数々のエピソードが生まれています。

芸術エリアは、光の趣を考慮して2階に設置されました。美術・書道・音楽室が縦列に外のベランダを通じて繋がっています。そのベランダ越し

私は14期10月から25期卒業(30歳-42歳)まで在籍し、文武両道、師弟同行を実践。数多くの思い出が脳裏に浮かんできます。嘉納治五郎師範の遺訓「精力善用、自他共栄」の精神を胸中に、69歳迄教育に携わり、以後横浜から二宮に転居し13年、地域の高齢者を対象に、健康維持活動を続けています。今、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、一年延期された東京オリンピックの開催も危惧される状況ですが、同窓生の皆様の健康とご発展をお祈り申し上げます。

在籍期間…昭和45年度～昭和56年度

に見える富士山も素敵です。今では時代?が違いすぎると言われるかもしれませんが、音楽室横のベランダで音楽部の面々と共に新歓行事でBBQなど楽しい思い出があります。(旧校舎では、音楽室のストーブでカレーやお汁粉作っていた生徒もいましたが・・・笑)

学年・クラス、部活動や行事への関わりで、その時代、その時代を共に過ごしてきた皆さんとの繋がりが、しっかりと今も見えるという意味は、出会った人を大切にするという事ではないでしょうか。ただ、ただ感謝です。

平成元年度に南高に赴任した時は34、35、36期生。自らの定年と同時に卒業していった64期生が令和元年度。長い長い年月、「繋がる縁」にありがとうございます。

在籍期間…平成元年度～平成13年度。平成26年度～現在まで



64期生が学年集会後にサプライズで開催してくれた還暦祝い

訃報

去る令和3年1月7日、62・63号の同窓会報の先生方からのメッセージで原稿を頂きました蕪木 秀敏先生が逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

卒業生と TRY & ACT の趣旨と企画への想い 話そう

横浜市立南高等学校 国際企画部主任 主幹教諭
蛭田 祥友(33期)



現在、高校のカリキュラムには「総合的な探究の時間」という科目があります。文科省によると、この科目の目標は「変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成すること」とあります。具体的な学びの内容は各学校が決めることになっていて、南高校では「キャリア教育」と「国際理解教育」を二本の柱にした独自のカリキュラムを作っています。具体的には「生徒一人ひとりが主体的に目標を定めて対話的に学び、働くことの意義を理解し、グローバル社会に適応した人材を育成する」、「SDGsと関連させて多様な文化・価値観を理解し、グローバルな視点に立った課題発見解決力、異文化コミュニケーション力を育成する」になります。

今回は、前者に関するもので、「働くって何だろう?」ということ南高68年の人

的リソースを活用して生徒に考えてもらうという企画でした。私自身33期のOBであり、南高校には様々な分野で活躍している卒業生がいることを知っているので、「どこかでOBやOGを招聘してのセッションを打ちたいな」と考えていました。そこに、やはり南高OBである西澤先生から同窓会の山形副会長をご紹介いただき、今回のコラボレーション企画が実現したという流れになります。

5月22日(土)に高校1年生(68期)向けに開催された「卒業生と話そう」には、山形副会長から人選をいただき、以下の方にご参加いただきました。イベントは二部構成で行われ、前半が80分間のトークとワークショップ、後半が30分のパネルディスカッションでした。ワークショップではそれぞれの専門分野で巧の技をご紹介いただき、パネルディスカッションではかつて「お祭り学校」と揶揄された(?)南高のDNAを共有する場面も垣間見られました。また、生徒たちが笑顔で先輩たち

の話の聞いている姿は感動的で、南高校は繋がっているということを感じずにはいられない瞬間でした。

「今回の企画への想いを聞かせてほしい」ということなので、一言書かせていただきます。私は南高校に勤務して4年目になりますが、実は「南高校に戻る」ということになっても、それほど想い入れはありませんでした。新校舎には思い出はないし、雰囲気も変わったと聞いていたからです。でも、着任式の時に聞いた、附属中・南高の生徒が唄う校歌を聞いて、その考えが吹っ飛びました。「ああ、俺たちの校歌をこんなに気持ちを込めて、こんなに上手に歌ってくれるんだー」これからも地域に愛される“南高”であるために、OBとして貢献できれば大変嬉しく思います。

最後になりますが、今回ご協力いただいた卒業生のみならず、同窓会関係者のみならず、美味しい仕出し弁当をご提供いただいた弘明寺あしな様、本当にありがとうございました。



カニカマ研究科
新井 正美さん(18期)

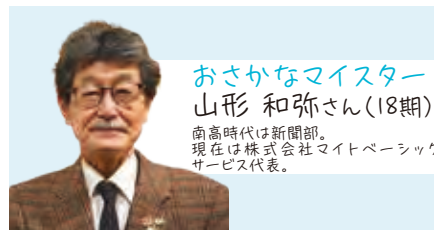
カニカマ新メニュー考案

私は18期生で、担任の先生は、高校一年は高見沢先生、2~3年時は本間先生にお世話になりました。卒業して以来半世紀近くたちます。上大岡駅から学校までバス通学で、朝の通学にぎりぎりの時間で京急電車に乗る時は、最寄りの駅が同じの担任だった本間先生と一緒になると、内心ラッキーと思いき先生に駆け寄り朝の挨拶をして、タクシーに乗って南高校に向かう先生に同乗させてもらう経験を何度もしております。

自由な発想を求め、他者と比較しない自分を形成しようと目に見えない何かと戦っていた時代でしたが、南高祭を通じて自由に表現できる楽しさを学び、それは現在迄繋がっております。還暦を過ぎて同級生のFacebookで見たカニカマイベントへの興味から2017年よりカニカマレシピを自身のFacebookに投稿し始め、一年を超えたらカニカマハナコ名のインスタグラムを立ち上げて、カニカマ料理に特化して毎日投稿しております(現在も続行中)。「あなたほどカニカマ料理を作っ

ている人はいません」と局の方から褒めて頂き「マツコの知らない世界」に「カニカマの世界」で出演しました。カニカマハナコは南高にいたから誕生したようなもので、今更ながら南高での人間形成と繋がりが自分にとり最高であったと、感謝しています。そして高校時代が人生の一番楽しい時と確信しているので、三人の子供たちにも同様の経験をさせたくて、校風の似た学校へ通わせました。

卒業以来、学校へ行くことはありませんでしたが、南高校の卒業生同士の共通意識は私もしっかりと持っております。今の自分のベースを作って頂いた母校への感謝を忘れず、これからもカニカマハナコは活動を続けますので、皆様で見守って下されば幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



おさかなマイスター
山形 和弥さん(18期)
南高時代は新聞部。
現在は株式会社マイトベリック
サービスマン代表。

おさかなには骨がある

南高時代は2年次の舞台の部実行委

員長に就き、2学年総出演のビッグプロジェクトを経験できたのが当方にとってその後の人生に大変役に立ちました。

印象深いのは、舞台の部のシナリオのテーマ等を決めるのに、本間先生の発案で各クラスの舞台の部委員達と自由参加で夏休みの舞台の部実行委員会合宿を厚木の県のキャンプ施設で佐藤先生や高見澤先生の協力で行ったことです。

本間先生の「同じ釜の飯を食らう」という体験が、その後の舞台の部の進行に大変役に立ちました。

今回蛭田教諭からの同窓会とのコラボ企画をいただき当方は「おさかなには骨がある」と言う出前授業の抜粋をワークショップで行い、魚篇の漢字をグループワークで創作して発表してもらいました。

高校1年生の発想の自由さにとても驚き、また、感心させられ、こちらとても楽しめました。

今後この企画が継続できるように同窓会としてもバックアップしていきたいと存じます。





ダンボールアーティスト
山田 素子さん(28期)
Moco-ya 代表

ダンボールアートを作ろう

1984年卒業、28期フォークソング部の山田素子です。高校1年生からインテリアデザインに興味を持ち、専門学校に進学してインテリアデザインの勉強をしました。その後、娘の為にダンボールで「木馬」を作ったのがきっかけでダンボールアートが楽しくなり制作をはじめました。2008年ダンボール玩具とインテリアのMoco-yaを設立し、現在は、乗用玩具や、ワークキットをWEBショップから販売したり、親子向けのワークショップを開催したり、イベントでダンボールアートを展示するなど、ダンボールアートの魅力をお伝えするお仕事をしています。この度は、「卒業生と話そう」企画でワークショップをさせていただく事になり、37年ぶりに母校に帰って参りました。高校1年生の皆さんとお目にかかれ嬉しさのあまり、当日は、張り切っていました。「ダンボール箱で実験」と題して、ダンボール箱1個に何か役割を与えよう!という難問をなげかけてしまいました。にもかかわらず、60分という短い間に生徒さんたちは、ユーモア×センス×知恵を持って答えてくださいました。優秀な反応に驚かせられ、私自身刺激をたくさん頂きました。今回の実験が、皆さんの試行錯誤の際に解く為のヒントになれば幸いです。昨年、偶然フォトグラファーの吉岡さんに出会って、こんな素晴らしい企画に参加させていただき運びとなりましたことに感謝いたします!



スチールカメラマン
吉岡 晋さん(29期)
南高時代は水泳部。

雑誌の表紙を作ってみよう

写真を撮めたのは南高在学中でした。当時、自分のカメラを持つことはできませんでしたが、同級生の友人からカメラを借りて好きなものを写真に収めていました。

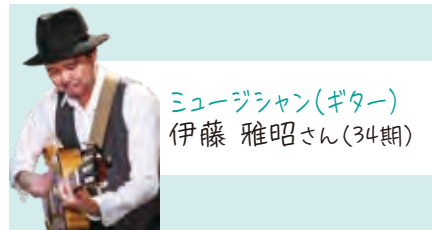
大学生の時にはアルバイトで一度だけ雑誌記事用の撮影をしたことがあり、思い返してみるとこれがカメラマンとしての仕事の原点なのかもしれません。しかし社会人になってからの仕事は実は写真とは無縁で、その後再びカメラを持つようになったのは30歳で初めて海外に行った時でした。

2000年以降ITセキュリティコンサルタントの仕事をしていましたが、リーマンショックで厳しくなりました。

ちょうどその時期にデジタルカメラを始めたこともあり、心機一転、一番好きなことを仕事にしよう、プロフォトグラファーとして仕事をしようと決心をしたのです。

当初40代後半に入ってからプロのカメラマンとしてやっていこうとすることを嘲笑する人もいましたが、今では雑誌等様々な仕事もさせてもらえるようになりました。

社会人になってから南高クラスメイトとは連絡を取っていませんでしたが、同窓会にはたまに参加していましたが、同窓会とは全く縁がなくなっていました。ところが知人の写真展でたまたま話をさせてもらった方が南高OBの大先輩で、同窓会の幹事をされていたのです。そのご縁で今回在校生へのワークショップと、寄稿の機会をいただきました。ご縁をいただきましたOB・OGの方々に深く感謝しております。



ミュージシャン(ギター)
伊藤 雅昭さん(34期)

みんなで演奏しよう

はじめまして。平成2年卒業 第34期、伊藤雅昭です。

今回このような、在校生と出会える場を作ってくださり、同窓会の諸先輩方、そして33期と一つ先輩の蛭田先生に大変感謝です。

在学中は、2年生から軽音楽部に入学しておりました。

30年以上ぶりに南高に来て、過去自分が通っていた時の色々な場面を鮮明に思い出しました。

当時僕は3年生で、進路に悩んでいた時、先生が「人生は自分で決めて良い、自由だ。でも選んだら頑張らないとね」と。以来、高校卒業後は音楽の仕事をした一心で、ひたすらに、がむしゃらにやってきましたが、その原動力は南高での日々のお陰だと、はっきりと思い出す事が出来ました。

在校生とのセッションは僕にとっても貴重な体験となりました、ありがとうございました。

プロフィール

日本をはじめ、中国、ラオス、ベトナム、タイ、カンボジア、モンゴル、インドネシア等世界各国で活躍し、人気を得ているギタリスト。ロックからジャズ、民族音楽まで様々なジャンルの音楽を吸収し表現、聴衆を魅了し続ける。世界中の各国を代表する大物アーティスト、トップスターとの共演も数多く、日本ではサンブラザ中野くん、ダイヤモンド☆ユカイ、中西圭三、ウェイウェイウー、alan、和田光司、時東あみ、他多数のミュージシャンと共演している。



Minami High School

TRY&ACT

南高祭

2019年
9月7日(土)
～9月8日(日)

2012年からお休み処「思い出箱」として参加しています。

お休み処



展示会場
(思い出箱)



の知らない世界」に「カニカマの世界」で出演しました。同年秋の18期生の同窓会では嬉しい事に、ネームプレートは「カニカマハナコ」となってそのユーモアセンスに南高の温かさを感じました。

2020年から始まったコロナ禍で数多くの学校行事が中止の中、同窓会の役員の方々より学食でカニカマ料理を出してみないかと提案を受け、少しでも明るい話題が提供できるならと提案に賛同しました。(株)スギヨ様より全面的なカニカマの提供を頂戴して、2020年11月の毎週金曜日に4回にわたり約230食のカニカマ定食を完売し、大変な盛り上がりとなりました。暗いニュースが多いコロナ禍の中で笑顔の話題を提供でき、私も大変に嬉しく思いました。このカニカマ学食は12月のテレビ朝日の「ハナタカ優越館」にも取り上げられ、改めて学校側の温かい対応、万事段取りを仕切ったくださった同窓会役員の方々のお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。局の担当者の方も南高でのロケはノリノリで有ったこと最後に申し添えます。

高校を卒業以来、前しか見ないで時を過ごしてきた私は、60歳を過ぎたころから時間にゆとりが出来た事も有り、今後の人生は先入観や、固定観念を捨てて何でも取り組んでみよう決めていた時にFacebookを通じて、同級生の投稿からカニカマのイベントを知り、コメントのやり取りからそのカニカマを買い求め、レシピ本を購入して毎日作っては自分のFacebookに乗せたのが2017年の話です。作り始めて直ぐにオリジナル料理になり、インスタに乗せた時は本名でしたが、一年過ぎたころカニカマ料理に特化したインスタを開設して、カニカマハナコ名で活動を始め、2019年夏に「マツコ



二十歳の同期会

2011年から成人をお祝いでしています。



62期

2020年1月19日(日)

場所：パセラリゾート 関内店



1961年卒業の5期生が60年目を前に、懐かしい上大岡駅のグランドウーカで最後の同期会を開催した。思い出せば50歳頃、30年目に個々のクラス会が合体した会だ。今後、小さい会合が個々に生まれるのだろう。

同期会

5期

2019年9月7日(土)

場所：上大岡 グランドウーカ



愛する南高校を卒業してから早30余年。現役時代には県新人戦優勝、毎年1月に行われる選手権県予選準優勝した31期+32期が50歳を超えた2020年にオーバー50のシニアサッカーチームを立ち上げ、ユニフォームも現役時代さながらの「南高シニア2020」として神奈川シニアリーグに参戦しました。顧問の葛野先生(故人)を中心に切りが暗くなるまで練習を重ねた日々を思い、現在は28期~34期の30名以上が登録しています。リーグ戦参加してすぐの昨年、3部リーグでは優勝。2部に昇格した今年も「南高魂」を合言葉に優勝目指して頑張っています。

部活OB会

サッカー部

南高シニア2020 代表 大橋 正臣(29期)



寄付をして頂いた方の御芳名

2017年6月～2019年5月31日までに同窓会へご寄付を頂いた方々のお名前を掲載させていただきました。皆様からの浄財は会報発行など同窓会の運営費として、また母校への援助資金として大切に使用させていただきます。本来ならお一人お一人にお礼状を差し上げるところでございますが、この書面をもって代えさせていただきます。本当にありがとうございます。

※敬称略 匿名希望は除く ()は旧姓

2019年度 (1期)

湯川 順子 (武井)
宮永 康好
右田 直代 (安田)
本望 裕代 (服部)
白井 登
和田 英二
高橋 健一
杉浦 光弘
縄 英明
長井 眞知子
江原 良平
三ヶ尻 春子 (萩原)
三ヶ尻 忠
平戸 善久
松村 祥男

(2期)

川上 弘
山口 肇
山本 秀智
樺 孝之
丸山 秀樹
平沢 廣光
相崎 弘之
石川 晴善
高橋 千代子 (宮下)
大原 黎子
木村 和子 (市川)
木村 道弘
細田 武彦

(3期)

丸山 隆司
鈴木 美穂子
鈴木 正孝
森 靖博
加藤 恵美子 (村田)
松村 邦子 (織茂)
長瀬 節子 (後藤)
齊藤 靖司
青木 秀雄

(4期)

西川 佳孝
中村 彰
北村 史 (門間)
武藤 治子 (西村)
齊藤 光男
佐藤 恭子 (河野)
大塚 喜英
大塚 明美 (関司)
小金丸 佳代子 (富永)

(5期)

山本 和廣
大松 菊宣
田河 桂子 (白石)
壁田 昭
山崎 美智世 (畠山)
森 章和
桐ヶ谷 弘美 (藤森)
高田 良子 (寺澤)
高橋 安子 (大坂)
最上 祥子 (森)
家城 光代
鈴木 利幸
市川 千恵 (加藤)
大谷 進治
金塚 日出子
依田 章史
柳谷 紀秀
天下 井清

(6期)

大橋 一博
亀岡 京子 (北見)
小田切 邦雄
松崎 啓祐
間庭 俊子 (直江)
小森 良治
鶴田 修康
中井 年子 (紙透)
松枝 茂
並木 孝之
高橋 勝
松野 隆介
加藤 眞樹
吉田 博子 (小林)
矢尾 知子 (栗田)
清水 正紘
齊藤 治子 (中村)
中田 健二
鈴木 豊
木村 兼昭
平井 なほ江 (佐野)
佐々木 節子 (大脇)
長瀬 美智子 (羽山)
小野 富貴子 (笠原)
鈴木 達三
鈴木 勝子
長谷川 和枝 (中田)
加藤 公男
大家 敏孝
中野 幸司
北原 輝明
小島 玲子 (川崎)
大滝 良雄
山下 古奈直

清美 穂子 (古賀)
吉田 富春
天野 美代子 (中村)
矢田部 公仁子
多々良 道雄
荒井 弘之 (近藤)
田頭 昌彦
海老澤 幸子
小林 美江子 (皆川)
高橋 幸男
磯野 明子 (鬼頭)
新井 清隆
筒井 ちよ子 (渡辺)
平井 紀美子 (関)
青木 清
岩田 力
藤山 京子 (矢部)
渡辺 由紀子 (下郡)
柳田 敏行
安藤 昌徳
三橋 澄子 (高橋)
八巻 和代
遠藤 哲夫

(7期)

高橋 邦明
梶利 充
保坂 博司
郡司 由美子 (倉田)
石原 純一
浅間 俊勝
佐藤 和夫
武智 英雄
川島 英子 (水谷)
坂田 孝一
長崎 隆夫

(8期)

和知 房子
並木 慎一
間邊 光夫
若木 正文
島田 紀子
鈴木 敏博
浅利 利夫
北見 泰人
大槻 和子 (廣川)
新倉 利枝 (松原)
郡山 菜都子 (真鍋)
石川 麗子 (小林)
土屋 正文
根岸 春夫
谷口 恵美子 (松田)
奥 登代子 (本多)
安達 ひさ子 (渡辺)

(9期)

菅沼 義久
内木 功枝 (重城)
横手 徹
山崎 貞子 (依田)
和田 久子 (安藤)
天野 一雄
田中 由喜子 (横山)
織茂 満明
丸山 郁子 (下山)
郵井 恭子 (仲丸)
青山 尚文
野尻 恵美子 (多田良)
小川 健爾
國分 幸子 (土屋)

(10期)

高梨 徹
小島 邦雄
石川 到覚 (石川 到)
林 康夫
鈴木 基允
宮口 恵美子
前澤 龍代

(11期)

清美 穂子 (古賀)
吉田 富春
天野 美代子 (中村)
矢田部 公仁子
多々良 道雄
荒井 弘之 (近藤)
田頭 昌彦
海老澤 幸子
小林 美江子 (皆川)
高橋 幸男
磯野 明子 (鬼頭)
新井 清隆
筒井 ちよ子 (渡辺)
平井 紀美子 (関)
青木 清
岩田 力
藤山 京子 (矢部)
渡辺 由紀子 (下郡)
柳田 敏行
安藤 昌徳
三橋 澄子 (高橋)
八巻 和代
遠藤 哲夫

(12期)

和知 房子
並木 慎一
間邊 光夫
若木 正文
島田 紀子
鈴木 敏博
浅利 利夫
北見 泰人
大槻 和子 (廣川)
新倉 利枝 (松原)
郡山 菜都子 (真鍋)
石川 麗子 (小林)
土屋 正文
根岸 春夫
谷口 恵美子 (松田)
奥 登代子 (本多)
安達 ひさ子 (渡辺)

(13期)

佐々木 光道
島田 のり子 (伊丹)
小関 裕
佐々木 妙子 (鈴木)
大竹 光雄
國正 國正
岩井 和枝 (松田)
宮内 明子 (佐藤)
瀬尾 のり子 (高浜)
竹内 善次
吉野 孝治
篠原 美津江 (石崎)
渡辺 克昭
本田 豊
佐野 登
小島 博
栗原 時子 (清水)
林 隆明
石川 澄子 (西村)
井原 道子 (西村)
濱田 早苗 (碓井)

國生 陽子
田口 一美 (深海)
長谷川 輝夫
石井 真一
塩田 高明
石井 厚子 (塚田)
谷津 明美 (楠本)
中村 憲史郎
菊地 晶江 (花井)
新井 恵子 (中野)
南宅 知代 (小谷)
江川 博史
佐藤 愛子 (小沢)
荒木 秀司
寺内 悦子 (古藤田)
寺内 嘉章
潮田 勇
市川 孝
渡部 佳利
佃 明義

(14期)

樺山 佳男
池田 哲男
ハンモト カズアキ
中村 宏幸
森井 厚枝 (大井)
鈴木 香代子 (吉野)
片山 徹
朝井 泉 (齊藤)
神田 恵子 (行貝)
鈴木 牧子
並木 一佐夫
塩田 敏明
大和多 正夫
宮川 照美 (岡部)
新野敏一同
青山 幸枝 (坂牧)
安藤 清美
藤田 明嗣
大野 淑子 (植松)
西村 圭子 (高石)
篠田 和彦
三木 理恵子 (貴島)
渡邊 活江
式井 裕子 (北畠)

(15期)

大川 伸一
鈴木 章夫
北崎 敦
鬼頭 誠二
小林 康裕
村上 一郎
鈴木 かよ子 (浦本)
一澤 茂行
藤島 秀興
君嶋 哲也
門倉 正幸
益田 國正
奈良輪 稔
勝見 智珠子 (原)
新井 正美 (山村)
松田 範子 (小島)
浜倉 公子 (山下)
野口 務
山形 和弥
三枝木 俊美
浅見 賢志
中杉 玲子 (石川)
服部 智美 (前川)
杉野 義和

(16期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(17期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(18期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(19期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(20期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(21期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(22期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(23期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(24期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(25期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(26期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

(27期)

加藤 春見 (菊地)
石井 裕美 (本田)
山田 久仁子 (大井)
植木 令子 (吉井)
木下 素子 (小柳)
高田 和成
武井 尚司
佐々木 みどり (沖)
間宮 英美
中目 敏子 (河合)
高山 敦子
鈴木 由美子 (井上)
曾我 由紀子
飯田 明子
石原 幸路
坂田 俊昭
福永 隆澄
藤川 眞
佐藤 仁美 (宮森)
小山 孝子 (富永)
吉田 秀人
キシモト ヨシオ
上田 英貴
荻原 正雄
金成 聡之
中島 利恵子 (目黒)
坂口 則子 (杉山)
22期3組一同
鈴木 祐次
山菅 正人
江崎 弘子 (山田)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
小沢 瑞穂
桐山 哲明
塚田 ひとみ (関)
三浦 雅之
中澤 安希
安藤 康浩
堀川 元司
俣 秀雄
花方 幸典
安部 多香子 (小嶋)
溝淵 優
中川 紀子 (伊藤)
毛塚 哲生
志村 誠彦
藤方 聡
有海 智子 (高野)
山崎聡
木本 洋子 (金崎)
吉井 敏昭
鈴木 孝嘉
名取 美奈
横川 智己
濱欠 宏哉
松野 毅
信岡 陽子
平野 美佳 (中農)
川口 俊行
柿木 清
中島 博子 (上野)

同窓会表彰 ～各部活動の活躍～

Congratulations!

令和2年度

中学校 サッカー部

第70回神奈川県中学校サッカー大会
横浜Dブロック代表選考会 優勝



コロナ禍での学校支援

南高等学校 副校長 田中 淳子

令和2年度は、緊急事態宣言の発令に伴う一斉臨時休業から始まりました。6月から分散登校、時差通学を経て、7月より通常授業、部活動が再開されました。

学校の再開に際し、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、消毒液、消毒液を入れるボトル、ペーパータオル、各教室にセットして置くためのかご等を購入する準備を始めましたが、公費ではなかなか手に入らないうえに、品物が届くまでに時間を要する状況でした。思案を巡らせていた折、石川会長より申し出があり、同窓会より緊急の援助(10万円)をいただき、日々の消毒作業に必要な物品を購入することができました。

お陰をもちまして、学習活動、南高祭や球技大会等の行事を滞りなく行うことができ、臨時休校をすることもなく無事に1年間を終えられました。お力添えをいただいたことに心より感謝申しあげます。ありがとうございました。

令和3年度がスタートしましたが、まだまだ感染拡大防止に努めなければならぬ状況下にあります。昨年度購入させていただいた物品を大切に使用させていただき、充実した教育活動が行えるよう、教職員一同努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申しあげます。



同窓会役員・理事・監事紹介

役職	期	氏名
会長	9	石川 直弘
会長代理	13	桐生 秀昭
副会長	14	菊地 晶江
副会長	18	山形 和弥
副会長	18	高田 桂子
理事	13	岩本しのぶ
理事	20	内藤 一彦
理事	26	粕谷 正伸
理事	26	長澤 嘉訓
理事	45	只木 聡

役職	期	氏名
理事	54	荒川 飛鳥
理事	61	古瀬 智美
理事	62	飯見 遙菜
理事	62	祝 透吾
理事	63	宮本 岳
理事	63	佐藤 桃子

監事	10	北見 昭八
監事	30	荒川 尚美

総会のご案内

令和3年 横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会総会

横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会会則第22条1の規定により、下記のように総会を開催いたします。同窓会ホームページにて総会議案書をご確認いただき、同封のハガキにてご意見をお寄せください。また、当日参加される方は同封のハガキにてお知らせください。

日 時：令和3年10月23日(土) 13時30分受付開始 14時開会

会 場：南高食堂

内 容：議案書(同窓会ホームページに掲載)をご覧ください。

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、当日会場での参加をされる方は、マスクの着用などの感染防止対策にご協力をお願いいたします
- 同窓会ホームページがご覧になれない方で、議案書が必要な方は、同封のご意見連絡用ハガキにその旨をお書きください。
- 新型コロナウイルス感染拡大の為開催できなくなった場合はホームページまたはハガキ(参加予定者)でお知らせします。
- ハガキの投函は9月末までをお願いいたします。

なお、本年は総会のみで開催となり、懇親会等は予定しておりません。

※当日学校の駐車場は使用できません。公共交通機関をご利用ください。

同窓会ホームページのご案内

イベント情報、活動記録などタイムリーな情報を発信しています。

同窓生の会社・お店を紹介しています

掲載希望の方を募集中です！

普段の生活でも、同窓生の絆が広がっていくきっかけになればと願っています。



<http://nanko-ob.com>

